



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <https://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	43,737	13.0	4,695	80.1	4,153	101.2	3,169	101.1
2018年3月期第3四半期	38,712	9.7	2,607	32.4	2,064	25.2	1,576	139.0

(注)包括利益 2019年3月期第3四半期 3,205百万円 (58.0%) 2018年3月期第3四半期 2,028百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	155.33	154.62
2018年3月期第3四半期	77.58	77.22

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	61,766	26,001	40.5
2018年3月期	61,854	23,697	36.7

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 25,033百万円 2018年3月期 22,714百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	18.00	33.00
2019年3月期	—	20.00	—		
2019年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.8	6,000	27.7	5,700	50.3	4,000	41.0	195.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
除外2社(社名) Har Ki, Inc., KITO PHILIPPINES, INC.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	27,048,200 株	2018年3月期	27,048,200 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	6,631,768 株	2018年3月期	6,659,133 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	20,407,712 株	2018年3月期3Q	20,321,750 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中の通商政策などの影響により、不確実性は高まるものの、当社を取り巻く事業環境においては、日本、米国を筆頭に、拡大するインフラ関連修繕需要や、底堅い民間設備投資需要が業績を牽引しました。

5カ年の中期経営計画の3年目を迎え、当連結会計年度は、これまでの基盤強化のフェーズから、本格的な成長フェーズへ移行してまいります。当期間においては旺盛な投資需要を着実に取り込みつつ、各施策を実行することで次のフェーズへの移行を達成してまいります。

当第3四半期連結累計期間は期初から増産体制を継続し、高い水準で推移する需要を捉えてまいりました。その結果、売上高は対前年同期比で13.0%増収の43,737百万円となりました。利益面では好調な売上と増産効果により、営業利益は4,695百万円(前年同期比80.1%増)、経常利益は4,153百万円(前年同期比101.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,169百万円(前年同期比101.1%増)とそれぞれ大幅な増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	22,205百万円 ( 30.6%増)	4,901百万円 ( 65.4%増)
米州	20,800百万円 ( 8.8%増)	1,086百万円 ( 23.7%増)
中国	5,545百万円 ( 19.6%増)	716百万円 ( 41.9%増)
アジア	3,258百万円 ( 21.2%増)	372百万円 ( 225.1%増)
欧州	1,811百万円 ( 34.4%増)	△30百万円 (前年同期は70百万円の営業損失)
その他	1,479百万円 ( 5.2%減)	37百万円 (前年同期は60百万円の営業損失)

## (日本)

国内・輸出共に、インフラ老朽化修繕、災害復旧関連等の公共投資需要及び民間設備投資においても旺盛な需要が継続した結果、売上高は22,205百万円(前年同期比30.6%増)、営業利益は4,901百万円(前年同期比65.4%増)となりました。

## (米州)

米国では、資源関連をはじめ、民間及び公共設備投資向けの需要が伸長し、売上高は20,800百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は1,086百万円(前年同期比23.7%増)となりました。

## (中国)

中国市場については、対米貿易摩擦による減速懸念はあるものの、中国国内における半導体・EV関連需要に加え、電力・鉄道等、産業インフラ向けの需要を捉えたことにより、売上高は5,545百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益は716百万円(前年同期比41.9%増)となりました。

## (アジア)

アジア地域においては、自動車関連をはじめとした需要の高まりと共に、事業構造転換を推進し、収益力向上にも注力してまいりました。その結果、売上高は3,258百万円(前年同期比21.2%増)、営業利益は372百万円(前年同期比225.1%増)となりました。

## (欧州)

地域全体の設備投資需要の高まりと共に、M&Aによるシナジー効果の影響も現れ、売上高は1,811百万円(前年同期比34.4%増)となりました。利益面では30百万円の営業損失(前年同期は70百万円の営業損失)となりました。

(その他)

当セグメントは現在、豪州のみで構成されており、売上高は1,479百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益は採算改善に注力し37百万円(前年同期は60百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は61,766百万円と前連結会計年度末に対し88百万円減少いたしました。これは、現金及び預金の減少2,309百万円、商品及び製品の増加2,646百万円、機械装置及び運搬具(純額)の減少495百万円、投資有価証券の増加578百万円等によるものです。

負債合計は35,764百万円と前連結会計年度末に対し2,392百万円減少いたしました。これは、短期借入金の増加1,203百万円、未払費用の減少775百万円、長期借入金の減少2,293百万円等によるものです。

純資産合計は26,001百万円と前連結会計年度末に対し2,304百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加2,294百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年11月1日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,780	8,471
受取手形及び売掛金	11,447	11,558
商品及び製品	10,673	13,320
仕掛品	1,748	1,717
原材料及び貯蔵品	3,081	3,019
その他	1,287	1,274
貸倒引当金	△43	△42
流動資産合計	38,975	39,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,473	4,370
機械装置及び運搬具（純額）	4,823	4,328
その他（純額）	2,252	2,005
有形固定資産合計	11,549	10,704
無形固定資産		
のれん	1,926	1,728
その他	4,914	4,627
無形固定資産合計	6,841	6,356
投資その他の資産		
投資有価証券	1,312	1,890
繰延税金資産	1,727	1,891
その他	1,448	1,604
投資その他の資産合計	4,488	5,386
固定資産合計	22,879	22,447
資産合計	61,854	61,766

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,143	6,791
短期借入金	1,506	2,709
1年内返済予定の長期借入金	4,212	4,153
未払費用	2,949	2,174
未払法人税等	795	774
賞与引当金	803	888
その他	2,204	1,648
流動負債合計	18,616	19,140
固定負債		
長期借入金	15,731	13,437
役員退職慰労引当金	211	213
退職給付に係る負債	2,407	1,961
その他	1,190	1,011
固定負債合計	19,541	16,624
負債合計	38,157	35,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,210	5,214
利益剰余金	18,674	20,968
自己株式	△5,749	△5,725
株主資本合計	22,111	24,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	106	94
為替換算調整勘定	724	749
退職給付に係る調整累計額	△228	△245
その他の包括利益累計額合計	602	599
新株予約権	48	37
非支配株主持分	935	930
純資産合計	23,697	26,001
負債純資産合計	61,854	61,766

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	38,712	43,737
売上原価	25,217	27,328
売上総利益	13,495	16,408
販売費及び一般管理費	10,888	11,712
営業利益	2,607	4,695
営業外収益		
作業くず売却益	36	37
その他	108	150
営業外収益合計	145	187
営業外費用		
支払利息	295	299
持分法による投資損失	247	138
その他	145	291
営業外費用合計	688	729
経常利益	2,064	4,153
特別利益		
固定資産売却益	—	167
特別利益合計	—	167
特別損失		
固定資産売却損	—	45
減損損失	—	39
特別損失合計	—	85
税金等調整前四半期純利益	2,064	4,235
法人税等	430	965
四半期純利益	1,633	3,269
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	99
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,576	3,169



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,633	3,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
繰延ヘッジ損益	21	△11
為替換算調整勘定	274	△51
退職給付に係る調整額	1	20
持分法適用会社に対する持分相当額	97	△22
その他の包括利益合計	394	△64
四半期包括利益	2,028	3,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,956	3,128
非支配株主に係る四半期包括利益	71	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	9,704	19,070	4,370	2,687	1,320	1,559	38,712	—	38,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,295	53	267	1	27	—	7,644	△7,644	—
計	16,999	19,123	4,638	2,688	1,347	1,559	46,356	△7,644	38,712
セグメント利益又は損失(△)	2,963	878	504	114	△70	△60	4,330	△1,722	2,607

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,722百万円には、セグメント間取引消去△75百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,647百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	11,401	20,727	5,062	3,257	1,809	1,479	43,737	—	43,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,804	72	482	0	2	—	11,362	△11,362	—
計	22,205	20,800	5,545	3,258	1,811	1,479	55,099	△11,362	43,737
セグメント利益又は損失(△)	4,901	1,086	716	372	△30	37	7,085	△2,389	4,695

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,389百万円には、セグメント間取引消去△625百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,764百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社の子会社であるARMSEL MHE PVT. LTD. (「アジア」セグメント)におけるのれんについて、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったと判断し、帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において39百万円であります。